

ーコロナ新時代を切り拓く女性リーダー育成に向けてー 大阪大学と企業7社で展開する「阪大スタイル産学共創教育事業」 3つの育成プログラムに参画

三洋化成工業株式会社
(証券コード：4471)

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：安藤孝夫）は、従業員の多様性・人格・個性を尊重し、多様な人材が活躍できる企業を目指して、従業員が働きやすい環境・体制の整備に努めています。それぞれの従業員が十分に能力を発揮できるよう、人材育成や出産・育児・介護といったライフステージの影響を受けやすい従業員の活躍支援にも力を入れています。女性活躍推進についても「仕事」と「育児」の両立・活躍支援策を中心に、これまでさまざまな取り組みを進めてきました。

今回、国立大学法人大阪大学（以下、大阪大学）と7企業^{※1}が協働する2020年度「阪大スタイル産学共創教育事業^{※2}」が女性社員及び育休中の社員のスキルおよびキャリアアップにつながると考え、本事業に参画することにいたしましたのでお知らせいたします。

大阪大学は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」^{※3}の“牽引型”ならびに“全国ネットワーク中核機関（群）”の採択を受け、関西ならびに全国における、大学、研究機関、企業の壁を越えた女性活躍と女性研究者・技術者の育成に向けた取組を牽引しています。

この10月から本事業において、コロナ新時代を切り拓く女性リーダーの育成を目指し、「女性リーダー育成プログラム」「育休中キャリアアップ支援プログラム」「女性大学院生と企業等との交流会」の3つのプログラムが実施され、当社も積極的に参加してまいります。

当社は多様な人材の活躍こそが企業のさらなる発展、さらには社会への貢献に繋がるものと考えています。今後もさまざまな取り組みを通して女性が活躍できる環境だけでなく、従業員一人ひとりが働きやすい環境・体制を提供してまいります。

◆「阪大スタイル産学共創教育事業」3つの育成プログラム

【1】女性リーダー育成プログラム <2020/10/29～>

理系分野における女性リーダーの育成を目指し、大学院講義科目「イノベーションとインクルーシブ・リーダーシップ^{※4}」が開講されます。

「インクルーシブ・リーダーシップ」とは、多様性が真に活きるインクルーシブな組織づくりを可能とするリーダーシップで、不確実性の高い時代にありながら革新性・創造性の高い組織運営をするために重要な資質です。大阪大学の女性大学院生と企業の若手女性社員が混合チームを作り、ディスカッション、プレゼンテーション等を通して、自らの意識と行動を変えるきっかけを作れるよう、急速な変化の時代に対応するスキルや知識を学びます。

今年度は、コロナ新時代の環境に対応できるオンライン方式のプログラムとなります。組織マネジメント・リーダーシップを発揮するため、「オープンカンバセーション」によるリアルタイムなアイデアの創出を授業内容に直ちにフィードバックさせる新機軸も取り入れられます。

当社を含めた企業6社から28名、女性大学院生14名が自宅や勤務先、研究室など、さまざまな環境下からオンラインで受講します。

【2】育休中キャリアアップ支援プログラム <2020/10/1～>

このプログラムは、育休休暇中の期間をキャリアアップのために有効活用できる仕組みとして、企業の社員が、人間科学部、経済学部及び工学研究科の授業を学生と共に受講するものです。昨年度実施した結果、社員、学生、担当教員の「三方よし」であったことから、対象企業を拡げ、科目も拡大して実施します。

企業の社員は大阪大学の科目等履修生^{※5}として受講します。オンラインの授業では自宅から受講できます。対面型授業では、大阪大学の3キャンパスに設置されている一時預かり保育室に子供を預けて履修することができます。

【3】 女性大学院生と企業等との交流会 <2020/11/11@オンライン>

理系6研究科の研究科長から推薦された優秀な女性大学院生46名が、社会と研究のつながりを知り、自身の研究を深化させ、女性研究者としてのキャリア形成意識を向上させることを目的に、企業や研究機関(19機関)との交流会を2020年11月11日に開催します。今回は、オンラインによるバーチャルな交流会として2部構成で開催します。

第1部では大学院生が、専門毎にグループ化したオンライン上の部屋にわかれ発表します。個々の発表内容等は、オンラインアンケートにて企業の人事担当者および研究者からご評価いただきます。

第2部では、企業数社ごとにグループ化し、学生が訪問する形をとります。そこで企業紹介をしていただき、さらに、小グループに分けて交流します。

優れた研究発表をした大学院生に、大阪大学の教員の選考を経て、「大阪大学女性大学院生交流会優秀発表賞」と副賞が授与されます。また、将来的には、所属研究室との連携や共同研究等に発展していくことも期待されています。

◆用語説明

※1 大阪大学と協働して産学共創教育事業に参画する7企業

ダイキン工業株式会社、シスメックス株式会社、三洋化成工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、西日本電信電話株式会社、ロート製薬株式会社、サラヤ株式会社(順不同)

※2 産学共創教育事業

大阪大学と企業が協働して、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を切り開く新たな価値創造に挑戦する女性リーダーの育成と、すそ野拡大を図る先駆的な人材育成事業を展開します。全国のモデルケースとなるよう、今年度の実績を踏まえ、来年度からはさらなる展開を図り、リカレント教育や研究力向上を図る取組も強化します。

※3 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」

女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じてリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援する事業です。

“牽引型”は、大学や研究機関が企業等と連携し、連携する各機関はもとより、その他の機関を含めた地域や分野における女性研究者の活躍促進を牽引する取組であり、大阪大学は国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、ダイキン工業株式会社とともに2016年度に採択されました。

<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/2016/09/post-3171/>

<https://www.daikin.co.jp/press/2016/20160907/>

中間評価では、最高評価であるS評価を受けている。

<http://www.diver.danjo.osaka-u.ac.jp/news/post-10116/>

“全国ネットワーク中核機関(群)”は、国内外の取組動向の調査や経験、知見の全国的な普及・展開を図るための全国ネットワークの構築を目指す取組であり、大阪大学は全国唯一の代表幹事大学として、2018年度に採択されました。現在、国公立大学、研究機関、企業等の156機関が参画しています。

[ウェブサイトOPENeD <https://www.opened.network/>]

※4 インクルーシブ・リーダーシップ

一人が率いる旧来型リーダーシップとは異なり、組織内の一人ひとりのなかにある多様な能力・資質を引き出しながら、全体として組織に高い貢献をすることができるよう導く「個の尊重」と「関係性」に注目した新しいタイプのリーダーシップ概念。インクルーシブなリーダーの下では、個人の強みが生かされるため、チームとして最大の成果も生まれるとともに、組織の成長が期待されます。

※5 科目等履修生

大阪大学では、正規の学生以外の方が、大阪大学の学部又は大学院の特定の授業科目の履修を希望する場合、選考の上、当該授業科目を「科目等履修生」として履修することを認める制度を実施しています。履修する授業科目の試験を受けて合格すれば、大学の正規の単位を修得することができます。

❖三洋化成の従業員が働きやすい環境整備の取り組み

【ダイバーシティ&インクルージョン推進】

<女性活躍推進>

- ・社内外の研修や交流会・社長との交流会実施
- ・旧姓使用制度導入
- ・計画的な人材育成計画・配置
- ・コース制度の見直し（一般職を廃止）

・「阪大スタイル産学共創教育事業」に参画

- 厚生労働省「ポジティブアクション」普及促進に賛同しています。

（「ポジティブアクション」とは、男女労働者の差を解消すべく、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組みのことです。）

ーポジティブアクション応援サイトー

https://positiveaction.mhlw.go.jp/pa/search/detail.php?company_id=1343

ー女性の活躍推進宣言コーナーー

http://positiveaction.mhlw.go.jp/declaration/add/search_detail/?id=1163



- 内閣府男女共同参画局が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言に賛同しています。

ー「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言ホームページ

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html



<育児支援制度>

- ・両立支援ハンドブック作成
- ・育児休暇からの復職者支援
- ・男性の育児休業取得推進
- ・ベビーシッター費用補助制度
- ・病児保育費用補助制度

- 2007年には京都府で初めて厚生労働省より「くるみん」認定

2017年8月1日には「プラチナくるみん」認定

（「プラチナくるみん」は「子育てサポート企業」として「くるみん」の認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行なった企業が受けられるものです。）

次世代認定（くるみん）マークを
2007年に京都府で初めて取得

2017年8月1日
「プラチナくるみん」認定



<介護支援制度>

- ・介護休業制度の拡充
- ・介護勤務軽減・深夜業務免除制度導入

<LGBTQ に関する取り組み>

- ・社内規定・制度や福利厚生の見直し
- ・社外相談窓口の設置
- ・プライドパレード(レインボープライド東京・名古屋など)への参加
- ・だれでもトイレの設置
- ・LGBTQ の理解促進 (勉強会・映画鑑賞&トークセッション開催、LGBTQ 当事者で LGBTQ に関する啓発活動を行っている YouTuber のかずえちゃんを迎え、社内風土改革を加速していきます。)

- 2019 年には性的マイノリティであるLGBT等に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2019」において最高評価の「ゴールド」を受賞



【働き方改革・意識改革】

- ・在宅勤務開始(2019 年 4 月より)
 - ・失効有給休暇積立制度の拡充(2019 年 3 月より)
 - ・スーパーフレックスタイム制の導入(2015 年1月から随時適用拡大)
 - ・時間単位有給休暇制度導入(2016 年 9 月～)
 - ・フレキシブル休職制度の導入(2019 年 11 月から導入検討)
 - ・服装の自由化
 - ・コミュニケーションシステムの刷新
 - ・仮想デスクトップサービス VCC 導入
 - ・RPA(Robotic Process Automation)導入
 - ・ペーパーレス会議
 - ・BIシステム導入
 - ・モバイルワークオフィス活用
 - ・イントラネットを通して社長・役員に直接提案できるe-POST制度の導入
- 「働き方改革」に積極的に取り組んでいる企業として、2016年11月に京都労働局より京都府におけるベストプラクティス企業の第一号に認定されました。

【健康経営】

「健康経営宣言」を行い、健康経営に取り組み

- 健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人として2年連続で「健康経営優良法人」に認定されました。



<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 メディア・IR 部

電話 075-541-4312